



みぬま★広場

2024年9月号 No.196

発行：医療生協さいたま

介護老人保健施設 みぬま

〒333-0831 川口市木曾呂1347

TEL.048-294-9222

<https://rouken-minuma.jp>

2階療養棟の催し スナック“まこちゃん”を開店!?

2階療養棟では、毎月季節を感じるおやつやレクリエーションを行い、利用者様に楽しんで頂いています。

8月4日には、男性職員がスナックのママになりきって、利用者様にはお好きなカクテルを選んで頂きました。

「おいしい!」というお声と、素敵な笑顔が職員の励みになっています。

さあ!次は何をご所望でしょうか?

2階本館 介護主任 山中 彩子



4 あたたかい食事をする



ご自身で調理して盛りつけたり、親しい方と楽しく食べたり。誤嚥(ごえん)防止のために、食事前には口の体操も行います。

10の基本ケア 第4章 ~ あたたかい食事をする ~



3階ユニットのドライカレー作り



さすがにみなさんは、包丁さばきや手際が素晴らしいです。自分が出来ることでお手伝い。アツと言う間にカレーの出来上がり!「みんなで作ったカレーはおいしいねえ」こんな感想をいただきました。

3階ユニット 介護副主任 石川 潤



医療生協とは その2 (3回シリーズ)

組合員ってなに? 「出資・利用・運営に参加することです。」

出資：組合員のさまざまな願いを形にするために、組合員一人一人が出し合う大切な資金です。
医療・介護の事業を行うための資本金の一部になります。

利用：医療・介護サービスを利用するほか、各地域で行っている健康づくり体操や学習会に参加できます。また、組合員同士の助け合いである「暮らしサポート」の利用もできます。

運営：組合員の声を事業や活動に活かすために、投書用の「虹の箱」を設置し組合員と職員が検討し改善に努めています。また、毎年行われる「総代会」に組合員を代表する「総代」が集まり、医療生協さいたまの事業計画、方針、予算などを決定しています。

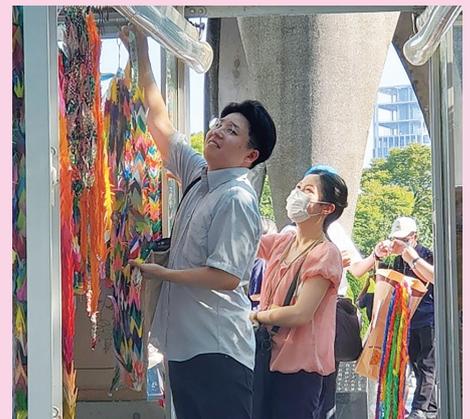
次回のテーマは〈出資金の使われ方は?〉です。

組織・社保・平和委員長 小林 光

2024年 原水禁世界大会(広島)への参加に向けて

広島には修学旅行等で何度か観光をしたことがありますが、原水禁という活動があるのは初めて知りました。開会式には約 3,000人集まり、これほどの人達が核廃絶という目標を持って参加している事に、力強い使命感の様なものを感じました。3日間と言う限られた期間でしたが、被爆体験、原発などの話を聞くことができ、とても貴重な体験になりました。

2階療養棟 介護職 神野 雄登



脱水症状に 気をつけよう



人は汗によって体温調節をします。汗のもとになる水分と電解質が足りなくなると体温が下がりにくく発熱の状態が続いて脱水症になります。特に高齢者は、「かくれ脱水」になりやすいので、暑い季節でも皮膚、唇の乾燥、尿量が減り、便秘になるなどの症状がある時は、経口補水液などをこまめにとるように促しましょう。

看護主任 福田 知美

オレンジカフェ

7月16日(火)雨が降ったり止んだりの天気でしたが12名(内新規2名)の方が参加されました。今回学習会として5月に続き認知症を知ろうPart.3として資料を用いながら学習会を行いました。参加者の多くが認知症の方への対応について不安がありとてもよかったと多くの声が聞かれました。回想法は「夏の思い出」ということで季節の花とともに思い出に花を咲かせていました。療養棟を使用されている方の兄妹の方が来られましたが、普段会う機会がないため顔が見れてよかったと嬉しそうに話されていました。

認知症ケアチーム 横山 奈美

フードパントリー開催のお知らせ

9月28日(土) 13:00~14:00

老健みぬま新棟1階駐車場

※食材(お米・缶詰・レトルト食品・麺類など)が不足しています。ご協力をお願い致します。

次回の開催は

と き:9月17日(火) 13:30~15:00

と ころ:みぬまひろば

ミニ講座:「認知症を知ろう Part 4」